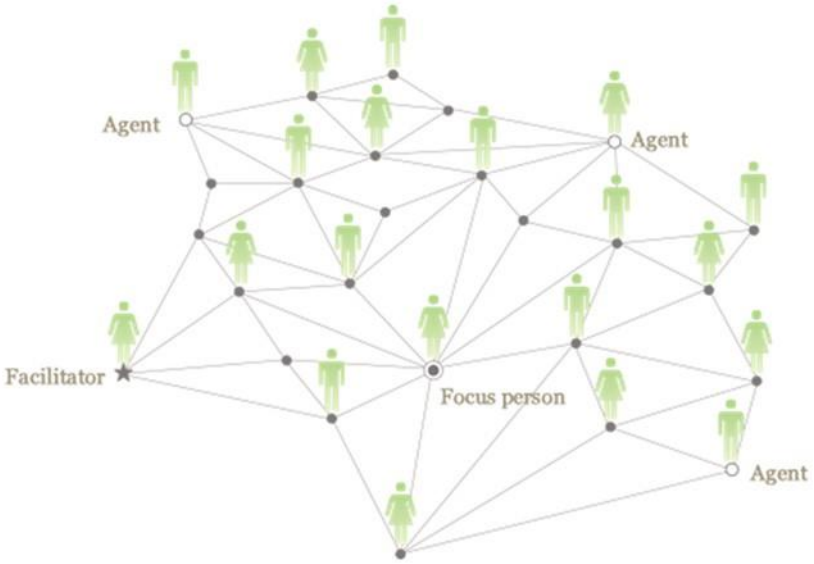
2024年度 re:Joyin　育成プログラム概要



株式会社リジョイン

リジョイン育成プログラム概要

２０２４年の育成は、パートナーと愛の側でつながり「この愛が体験したくて生まれてきた！」をリアルに実現します。

目次

１、カウンセリングコース３つの Stage

Stage1: １番の「ぶつかりポイント」で愛という感覚を体験する

Stage2: Reject（拒絶）を愛にする「２つのカウンセリング」を体得

Stage3: 二人の愛に責任を持つ力「プレジデントビュー」の体得

２、コースを進める二つの理論

１：心の階層理論

２：ズレ質⇆本質 理論

３、最速で進むための二つの提案

男性への提案

女性への提案

４、ダイレクトコースについて

ダイレクトコースは、こんな方におすすめです

５、Quickest way to achieve Love Love Love through Most Critical Point

最も危険な POINT を最短で駆け抜けて、ラブラブになる秘訣

６、プレシャスビジョンのスタートが、最高な人生のスタートです！

【１、カウンセリングコース 3 つの Stage】

＜Stage1：１番の「ぶつかりポイント」で愛という感覚を体験する＞

心とは感覚のこと、感覚の中に愛があります。

「条件がいいから、この人を好きになりたい！」と、いくら努力しても、「好き」の感覚を自分で作ることはできません。感覚という心の一番深い場所はとてもシンプルで、「Yes or No」しかなく、愛は「心と心が出会う」ことによって生まれる「化学反応」で、思考でコントロールすることはできないのです。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

この、制御できない心の「愛」という感覚を、コインで例えます。
コインの片方は「愛」、もう片方は、「愛を拒絶（Reject)」中間はありません。

愛と愛がぶつかると 生活が「愛」×「愛」でどんどん膨らむし、愛に溢れた楽しい毎日になります。
拒絶と愛がぶつかると、「愛」×「拒絶」で、片方が orz（←床につっぷしている）拒絶と拒絶がぶつかると、「拒絶」×「拒絶」＝ディザスター（大災害！）
「愛し合って一緒にいるのに、なぜ、こんな惨劇に？」と疑問に思ったことはありませんか？

また、この両親間の惨劇「拒絶」×「拒絶」、両親の喧嘩（無視、冷戦、激戦を含む）が、子供の脳の発達に影響する（マルトリートメント）という研究結果も出ています。

なぜ、Reject が起きるのか？それは、そこに一番の「願い＝WANT」があるからです。
愛は、最も強い WANT が生まれる場所。一緒にいたい、笑っていて欲しい、etc。
WANT が強いほど叶わなかった時の傷も大きいため、強い WANT の裏には叶わなかった時の恐怖や、幼少期の経験からそもそも WANT を伝えることに抵抗（恐怖）が存在し（＊）その結果、Reject（拒絶）となります。パートナーがぶつかる場所にある WANT を知ると、ぶつかりたいのではなく、本当は「こんな愛をつくりたい」「でも抵抗がある。恐怖がある」という「愛の誤解」であることが認識でき、二人の心を一瞬でつなぐ効果があります。夫婦にとって WANT が重要なのは、このためです。（二人の WANT が具体的でない場合、ダイレクトコースをおすすめします。詳しくはダイレクトコースをご参照ください。）（＊P５「２：ズレ質≒本質 理論」で詳しく説明しています）

Reject になってしまうことを思考で制御することはできません。Reject の瞬間、無意識は「恐怖を感じている」ので、脊椎反射のように思考を介さず、感覚で反応するからです。「もう怒らない」「感情的にならない」と決めてもまた、ディザスター（災害級のぶつかり）になるのは、理性や思考で制御できるレベルではない、「無意識の抵抗」が介在するからです。

育成プログラムのフィールドでは、日常では見ることができない心という感覚を、顕微鏡で見るように丁寧に感じていくことができます。まずはこのフィールドで「一番の WANT＝Reject ポイント」をひっくり返して、コインの表側「愛」でつながる体験を目指します。すると、Reject に「傷つけあう虚しさ」を感じるようになり、「愛に変えたい！」と、リバランスカウンセリングを実施できる俯瞰（機会）が生まれ、次の reject を防ぐことにつながります。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

このことから、パートナーがいらっしゃる方はお二人での受講をお勧めします。女性は感覚派で説明が苦手、男性は現実と思考が優位と、男女は機能が違います。「今は、コインの裏「Reject」だから、コインの表「愛」でつながりたい」と気持ち（感覚）を伝えても、男性は実質的に「何がどう問題か？」がわからないと理解できず、現実に問題が見当たらないため「問題ないよ、愛してるよ」となり、すれ違いがどんどん大きくなります。感覚（心）がつながりを諦める前に、「強い絆を作るチャンス」を掴んでください。

＜Stage2：Reject（拒絶）を愛にする「２つのカウンセリング」を体得＞

一度「愛」×「愛」を体験しても、仕事などの外的要因や夫婦間の理由により、また Reject は起こりますので、自分たちで愛「愛」×「愛」へ戻す力を身につけて、愛側に居続けることを目指します。Reject になったら、

１　まずリジェクトに気づく！

２　リバランスを実施

３　愛側で手を繋ぐ

「２リバランスを実施」では、二つのリバランスカウンセリングの体得を目指します。

A：自分カウンセリング（自分で自分を俯瞰しながら愛側へのリバランスを行う）

B：パートナーカウンセリング（パートナー専属カウンセラーとして相手に働きかける）

自分とパートナーを深く理解し、二人で助け合ってコインを愛へ戻す２つの「リバランスカウンセリング」を体得することで、Reject になっても短時間で愛に戻ります。

＜Stage3：二人の愛に責任を持つ力「プレジデントビュー」の体得＞

リジョインでは、思考を「第１階層」、感覚を「第３階層」、第一階層と第三階層を見渡す俯瞰を「第２階層」と、心を 3 つの階層で定義しています。（詳しくは後述します）

自分とパートナーの二人を見ると自分の１、

２、３階層相手の１、２、３階層

全部で６箇所あります。この全部を眺める場所を「７番目の場所：プレジデントビュー」といいます。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

どんな事態でも会社を軌道に乗せる社長が持つ、「すべての責任は自分にある」という経営者マインドの場所、組織のマネージメントにも要求される包括的視点です。部下の第三階層（やる気）と、第一階層（仕事効率）を最大限に引き出し、プロジェクトを成功に導くのです。

「自分カウンセリング」「パートナーカウンセリング」「プレジデントビュー」を体得する過程で本質につながった結果、会社組織のマネージメントへ確実に影響が現れます。感覚を理解する共鳴力、相手の感覚と思考を最大限引き出すリバランスカウンセリングを体得したら、上からのパワーマネジメントではなく、愛が土台のあなたの魅力に人が集まるようになります。

二人が「Reject VS Reject」になった時、プレジデントビューから自分とパートナーを見渡し、リバランスカウンセリングで自分を愛に、次にパートナーを愛へとコインを裏返して心を繋ぎながら、第一階層の現実を整理し、着実に進めます。夫婦や家族の混乱を収め、家族の船 FmamilyShip をプレシャスな旅へ導きます。結果、会社組織のマネージメントは楽に感じるでしょう。なぜなら、パートナーとのディザスターを超えたら、それ以外の揉めごとは大したことないと感じるからです。

【２、コースを進める二つの理論】

コースでプロセスを進めるために、以下の二つの理論が大切になります。

１：心の階層理論

２：ズレ質⇆本質 理論

＜１：心の階層理論＞

ディザスターの時、夫婦の会話が通じないのは、階層のズレによるものです。このズレを解決すれば、会話が可能になり、二人の心がつながり、ずっと愛が増幅していくという重要な理論です。

女の人は、第三階層で生きている！

第三階層は、「心の無意識層＝感覚」です。とにかく「心地いい or 心地良くない」「好き or なんか違和感」だけで、理由はわからない、論理性もない、ただただ「Feeling/Sense」の場所です。

男の人は、第一階層が得意！

「筋道が大切」「論理性」「理論的」「やるか、やらないか」の、思考「Mind/Thought」の場所です。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

そして、第一階層と第三階層を俯瞰する場所を、第二階層と呼んでいます。

感情は、感覚の結果として上がってくるもので、大切なのは、感情の下の感覚を掴むことです。例えば、怒りの下には「悲しい、虚しい、怖い」などの感覚があり、感情の原因である感覚を扱わないと、感情だけ処理しても同じことを繰り返すことになりますので、re:Joyin では、感情は扱いません。

第二階層は、第一階層（現実）と第三階層（心）のすべてを見渡して、決断する場所で、非常に重要です。

第一階層と第三階層のバランスが崩れて第一階層優位になると、家族と一緒にいるのに頭の中が ToDo で一杯で、家族の時間も仕事の一部のようになり、心の溝が深くなったり、役割だけの夫婦になります。
逆に、第三階層優位になると、「愛が一番！毎日ずっと一緒にいたい！Love！」となり、仕事に意識が向かず、結果、仕事がうまくいかない → 経済的に苦しくなる → 愛が壊れる、となるかもしれません。心の階層理論のもう一つの特徴は、「第三階層には個性がある」ということです。

心の階層をビルに例えます。第一階層が上階、第二階層が地上階、第三階層は地下とします。第三階層は人それぞれ深さがあり、地下２階の人もいれば、地下１０階の人もいます。同じ映画を見ても感じ方が違うのはこのためです。夫婦の心の話がぶつかるのは、歩みよったとしても二人が認識している階層が違うため、お互い一方通行の会話となるからです。

自分とパートナー、それぞれの第１～３階層の合計６点を俯瞰する、７番目の場所が「プレジデントビュー」で、全てを見渡すことから、７番目の丘「7th Hill」とも呼びます。

命とは「時間」であり、人生は短いものです。子供が生まれると、夫婦の時間はとても貴重になりますし、子供といられる時間はたったの１０年で、すぐに成長して巣立っていきます。時間を作るにも、楽しむにもお金が必要で、働いている時間は、大切な家族と一緒にいることはできません。こんなに貴重な時間を、本当は愛し合っているのに階層のすれ違いから Reject の状態で過ごすのは、非常にもったいない。
そのうち大黒柱の男性は「一体なんのために仕事をしているのか？」「俺の人生は一体なんなんだ？」と自問し始め、女性は、家族の心と体を幸せにしたい気持ちが低下し「家族がいるのに孤独」になります。

「自分らしい人生」を創るのに大切なのは、第二階層から冷静に見て、感覚に愛があり、効率的な現実の選択ができるか、ということだけです。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

大切な命の時間を Reject に使うのでなく、「愛の家族」を楽しむために使う秘訣は、階層理論でお互いを理解しながら、「二人だけの愛の言語」を手に入れることです。フランス人とインド人が理解し合うために英語を勉強するように、育成では、「二人だけ言語」を学びます。この言語を手に入れることができると、二人が愛でいる時間が画期的に増え、全ての時間が「人生を楽しむため」だけに集約されます。

＜２：ズレ質≒本質 理論＞

本質は「ありのままの自分」という、本来の自分が有する「才能や魅力、愛」ある場所です。

仏教では、三千の自分を一つにするために瞑想すると言われていますが、私たちが「自分」と思っている「自我」は、たくさん存在します。その中で、本来の自分の部分を「本質」、後天的に環境を乗り切るために手に入れた自我を「ズレ質」といいます。「本質」であれば多少のことはあれど大問題にはならずに現実は進むものですが、ズレた自分「ズレ質」は、多大な歪みと停滞を生じさせます。

経営者が、経営不振など「自分の望んでいない現実＝なんらか自分に原因がある」と考えて、自分の在り方を作る心に向き合う人が多いのは、これと同じ考え方です。人は、支障が出ないと真剣に体のメンテナンスが出来ないものですが、それ以上に、自分のあり方、心に関しては、何か

「大問題」が起こらない限り、改善しようと向き合いません。自分はズレているのか、本質なのか、に目を向けることはないのです。本来の自分ではないから問題が起こる、それが一番ダイレクトに現れるのは「愛の場所」、恋人/夫婦問題です。

なぜ、心がズレるのか。それは、自我の基礎が構築される幼少期の両親の養育、特に母親に影響されます。

＊以下の母性については理論上の話であり、現実的には無理な母性を定義していると認識しながら、しかし、論理上定義して進む必要があります。「こんな母親になれない。こんなふうにできなくてごめん。」というような気持ちが出てきても脇に置いて、「親でなく子供の場所」に立って読み進めてください。

子供になって想像してください。
0～３歳の自我が形成される前の純粋な感覚だけの存在です。空腹など体の生存要求から、「抱っこして」という愛の生存欲求まで、感覚は「快 or 不快」しかなく、不快を理解する思考もないため、泣き暴れるしか WANT を訴える術がありません。時制もなく、３時間以上続けて寝れない母親の疲れもわからないから、昼夜関係なく、空腹、排泄、愛して、と泣いて WANT を伝えます。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

そのあなたを、お母さんが、全部受け止めてくれます。
全部とは、ずっとです。「たまに受け止められない」は「受容でない」と定義します。

受容の母親は、忙しくても、手間がかかっても、お金や時間に余裕がなくても、効率が悪くても、泣き叫ぶ子供の感覚に寄り添いながら「なんで泣いてるのかな？教えてくれてありがとね」と訴えの答えを探し出し、愛に溢れ優しくケアしてくれる。ぐずる原因がわからなくても「どうしたのかな？大丈夫だよー」とひたすら安心で包み、自分も疲れて眠くても、変わらない安心をもらえる。これが「本質の母性」です。「なんて可愛いんだろう。なんて幸せなんだろう。」と、あなたへの純粋な「大好き」が途切れません。

そして、そのお母さんの全部を支えるお父さんの存在。子供のことで仕事に支障が出ても、お母さんに当たらない。妻と子供を守っていて、母親は「私は夫の心の中に入れてもらえている」と感じて満たせる父性。あなたが自立するまで「このスタンスが変わらない」、本質を守り育てる両親を感じてください。

一方、お金に余裕があって、家事や仕事、時間に追われない、子供のために時間を割ける状態でも、もし夫に守られず、心がつながっていなかったら、「かわいいと思いたいのに思えない」「あんなに望んだのにお世話が苦痛に感じる」と、受容したいけどできるわけがない状態のお母さん。または、子供のことも考えた、効率的な子育て、社会に合わせた躾として自立を促す母親。０歳から子供部屋で、泣いても抱っこはせずに一人で寝かす。子供が水たまりで遊びたくても、洗濯物が増えるのは効率が悪い、効率はお金、だから、水たまりという地球を感じたい子供の WANT を、「手間かけないでね」「汚さないでね」と Reject します。WANT が叶わないから本質が傷ついて子供が泣いちゃうと、「泣かないよ」「約束したでしょ」「もう知らないよ」「わがままはだめ」となる、よかれと思いながら、子供を Reject するお母さん。

受容の母性と Reject の母性を、子供の位置から感じていただけたでしょうか。

Reject が返ってくると、子供は求めても応えてくれないから傷つきます。傷つくことが続くと、防衛本能が働き、傷つかないように「本質の欲求（WANT)」に蓋をして、「諦め」「怒って当たる」「依存する」「遠ざける/遠ざかる」などして、WANT を誤魔化すようになります。ここで、ズレ質にシフトします。小さな子にとって「自分の全て（本質)」である欲求を Reject されて心が壊れることから守っているのです。

深い無意識では欲求が悪いものと認識され、欲求＝本質が悪いものだとなり、本来の望みや人生で経験したいこと、成し遂げたいこと、「WANT そのもの」が行方不明になります。これが成長した時に「やりたいことがわからない」「何のために

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

生きているのかわからない」に発展したり、ズレた生き方で「自分は満足している」と思い込んでパートナーと揉める、という原因となります。

言葉にすると「僕の心を形にしてよ」という一言なのです。

感覚の生命力から溢れ出る、自分ではコントロールできない欲求（WANT）を、母性で受け止めて叶えてもらえるか、または、効率や時間やお金、気持ちの問題で reject されるか。本質があなたにとって一番大切な心だとしたら「私の心は生み出してもらえなかった」ことになります。

思考や論理性を用いて教育することができないこの時期に、子供の WANT の感覚を大切に、全てを受容すること。社会や大人の都合に合わせた、いい、悪いでなく、その子の本質から来る純粋な WANT（欲求）を受け止め、「あなたから湧いてくるものは、全て受け止めるから出していいよ。」としてあげて初めて、子供は「自分の本質（WANT）は、そのまま表現してもいい！」という感覚、一番深い感覚の肯定を得て、本質のまま生きていくことができます。

最初のズレから成長するにつれて、何層にもプロテクトするようになり、ありのままの自分から遠ざかります。何枚も服を来て、寒さから身を守るのと同じです。心の養育は、感覚時代から、自我の確立、自我の認識、社会との関係の認識と、意識が成長するにつれて、その段階段階で、最適な両親の関わり・サポートが重要なのです。「本質←マルトリートメント＝ズレ質（プロテクター)」

＊マルトリートメント：子供の本質感覚を閉じ込める養育

育成は、この方程式をもとに進みます。

Sensitive heart can broken　繊細は心は壊れてしまう。
Wild heart cant be broken　ワイルドな心は壊れようがない。
Only sensitive heart protected by wild heart　強い心だけが、繊細な心を守れる。

女性にリバランスが起きて、ズレ質から本来の女性性が現れると、男性が見たこともない「女性の繊細さ」を目の当たりにします。男性にリバランスが起きて、ズレ質になった原因の痛みに触れると「男は泣くな」「感情に負けずに自分を律しろ」「お前は弱い」「お前はダメだ」「悔しさ」などが出てきますが、感じた後には、「ヒーロー性」という本質に出会えます。すると、自然と「俺の全てで愛する君を守りたい」という WANT 感じるようになり、守りたいから「決して負けない強い心」を探し始めます。「こんなに繊細で、最高に素敵な女性を愛し抜きたい」という WANT が生まれると、「心を守りたい」ことに気付きます。これは全ての男性の無意識に存在します。

本質の愛の場所での「愛せている」「愛されている」実感は、お互いがかけがえのない存在だと確信します。その両親の中にいる子供は、ピカピカな笑顔でしかありません。そしてこれが、どうにもしようがない人生の谷、「答えの無い人生」

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

を乗りこえる力「本質の心」を育てることになります。

つながっていなかったり、ディザスターで傷つけあっている時間から、繋がっているから毎日最高に幸せな時間へ、早くシフトしてほしいと願っています。
そこで、「最速で進むための二つの提案」をさせていただきます。

【３、最速で進むための二つの提案】

＜男性への提案＞

女性は、繊細で怖がりで臆病で、男性のサポートがないと生きていけません。繊細すぎてすぐに潰れちゃうし、メンテナンスしないとすぐにしょんぼり青カビが生えちゃうので、育成では「いちごちゃん」と呼んでいます。そのいちごちゃんを守る男性のために、二つのコミットを提案します。

1　Whenever you are
君の心の状態がどんなであっても、僕は君の心を見つけて、抱きしめて君を笑顔にする。
２ I’ll never say good bye
君の心を抱きしめるまで僕は君にサヨナラをいわない。もちろんずっと抱きしめ続ける。

このコミットが、女性が心に向き合う安心のフィールドを作り、結果プロセスが早く進みます。

＜女性への提案＞

「No More Noroi」ポリシーで進みましょう。

愛は母性から始まります。あなたが５ヶ月の胎児の時に卵子という子供は体の中にいて、あなたはずっと一緒に生きてきました。あなたが母のお腹にいた時から子供と一体だったのです。心も同じようにあなたと子供は一体で、母性という我が子を思う場所は、子供の本質 WANT の声でいっぱいです。

子供の本質 WANT の声が聞こえる母性に行くために、Reject を超えて愛につながるのは、いちごちゃんにとってとても怖いことなので、男性に守ってもらう必要があります。この時、女性は「No more Noroi」ポリシーを大切にしてください。このポリシーが、あなたの母性と子供の心を守ってくれます。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

女性の中には、母性の他に「女性性」＝「愛している男性にずっと『かわいいね』と愛されていたい気持ち」があり、女性性のコインが裏返ると、「チョ・マテヨ！」（捕まえてほしいから、嫌な態度で逃げてやる！攻撃する！それでも私を愛してると捕まえて！と永遠に繰り返すゲーム。壁ドンも同じ論理）になります。これはこれで楽しいので、男女間で心ゆくまで楽しんでもらっていいのですが、母性の場所でやってしまうと、プレシャスな母性と子供のための男性の頑張りを、満たされない女性性が裏返った Noroi で「愛され女優」になって全部食べてしまい、プレシャス WANT の実現が、進まなくなります。

女性は愛しかないので、「つながる」「子供へ流す」以外は、すべて裏返って「呪い」になるのです！でもそれに気がついて、「つながる」愛の側でいたい！という「No More Noroi」の気持を大切にしていれば、先の男性のコミットの元に、ヒーローが現れますので、安心してくださいね。

【４、ダイレクトコースについて】

なぜ愛し合っているのにそこに「Reject 拒絶」が存在するか？それは、すごくぴったり心がつながりたいからです。そして、もう一つ、すごく大切な WANT があるから。怖くなるくらいぴったりと心を繋げたい相手と、どうしても叶えたい譲れない WANT、それは、命に関すること、つまり、子供についての WANT です。そして、子供という命の場所には、父性と母性があるのです。

『 愛の一番深い WANT ＝ 命の場所 ＝ 子供 ＝ 父性/母性 』

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

愛する男女にとって父性/母性の場所は最も愛が大きくなるため、最も Reject（ズレ）が起きる場所です。

リジョインでは必ず「進めたい現実/こうなりたい現実は何か？」ということを明確にして、現実のプログレス（進捗）を見ながら内面に働きかけます。ダイレクトコースは、この現実を「子供の本質」＝プレシャス WANT に確定して進めます。この場所を定点として、男性は「子供の心と命を守る父性へ」女性は、「心と体を愛し養う母性へ」を目指します。

この父性/母性の場所で、子供の本質にベクトルを向けた時に湧き上がる仕事への意欲、本質の才能・魅力に向き合うことで、子どもが「ありのままの命で、これがやりたかった人生」を生きる力「本質」が育つ「本質で生きる両親」を目指します。
ダイレクトコースの毎月の SV では、どこが「conflict point（ぶつかるポイント)」なのかを、リジョイン独自の手法で炙り出し、働きかけます。収入について、男性の感覚が切り離されていることについて、女性の現実が苦手な側面について、SEX についてと、広範囲を課題とプロセスレターから分析し、リバランスポイントを特定、スーパーバイズで還元します。ダイレクトに働きかけるため、スピードは格段に早くなります。面談と育成の違いは、こうした一連の濃密なプログラム「自分カウンセリング/課題→トレーナーによる分析→SV」からの、圧倒的なスピードです。
＊一回の事前分析にトレーナー2 人で約 11 時間かかった例があります。ダブルカウンセリング５回分！です。これが面談だけで進む場合と格段にスピードが違う理由の一つです。

＜ダイレクトコースは、こんな方にお勧めです＞

・二人の命（子供）のレベルで、二人の関係のもやもやを解消したい、心の壁を無くしたい
・虐待とかはないけど、子供へもっと愛だけで接したい
・虐待と思っている行為を止めて、子供へもっと愛だけで接したい
・何らかの期日（実子、養子を授かりたい）などがあり夫婦の心のプロセスを早くしたい
・二人の心がつながった安心で、難しい着床を成功させて子供を授かりたい！など
・子供の教育・養育について、二人の価値感を感覚レベルで一致して子供に接したい
・子供を視野にいれて、パートナーを見つけたい
・子供のリミットまで時間がないので、最短でプレシャスな家族を作りたい

子供を視野にいれたパートナーシップを目指したいシングルの方は、最短でプレシャスファミリーを築ける男性に出会い、
心の繋がりのある家族をつくるために、母性という命のレベルの「好きセンサー」につながることを目指します。

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

【５、Quickest way to achieve Love Love Love through Most Critical Point】
【５、最も危険な POINT を最短で駆け抜けて、ラブラブになる秘訣】

「Chandamama」（チャンダママ）というインドの歌をご存知でしょうか？

子育ては大変です。心から望み、この上なく愛おしいのに、「母やめたい」と思う時もあります。
この歌では、愛してるから、子供のわがままに心が削られて、母を投げ出したくなる時、お母さんが、月を自分のお母さんにみたてて、わがままを言って甘えて、心を補充して、「どうか私が、やさしい愛で子供をケアできるお母さんでいられます様に」と祈るのです。
「Mother of all mothership（すべての母性達のおかあさん)」
子育てをする母親にとって一番大切な存在は、子育てについて甘えられる母親の存在です。

本質が閉じ込められているということは、受容がなかったということ。大切なのは、「一般に見てどうだったか」ではなく、あなたの感覚に欲しかった母性があるか？です。Reject の場所には、母性の欠如の悲しみが隠れています。「全部受け入れてあげたい。でも、もらってないからあげられない。どうしていいかわからない。」この悲しみにたどり着き、抱きしめることが、プロセスを最短で駆け抜けるポイントです。ここを、二人で目指してください。

もちろん Father of Fathership は更に経済的責任もあるので大変です。「俺だって。。。」と言いたい！
でも、男性は自分の中に「大切な女性を愛したい」気持ちがあります。相手の為でなく、「俺の人生は俺のものだ、俺の心は俺の物だ、この心に君がいる。だから俺は君のものだ。」という気持ち。それが男なので、潔くマインドの声は置いといて、愛に捧げましょう。愛に死にましょう。それが、チャンダママが必要な妻に、自分がチャンだママになって包むことであり、最速でプレシャスパートナーシップになる近道です。

なぜなら女性は、繊細で、Sensitive です。この繊細さは男性にはありません。だから、綺麗で、美しく、愛おしいのです。
「私たち男のエゴは、その美しさに死ぬ為にあるようなものです。映画アルマゲドンのブルースウィルスのように。By 男性トレーナー真田」

だから、愛する妻、恋人にとって、カッコいい男になりましょう。
愛する女性が、本当に一番怖い命の場所で「あなたに安心できない」と言うことができる男になりましょう。
「安心できない」が言えるほどの安心のフィールドをつくります。（女性は Noroi に要注意！）

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください

男性はパートナーが大好きなので、「安心できない」を聞いたらショックです。でも、そのショックは自責の念であって、愛ではないのです。自分を責めることで隠している恐怖のさらに下には、「なんだここは愛してるしかないじゃないか！」「ずっと愛していてこれからも愛し続ける」場所です。「愛する人を守るために行動する」場所。男性の愛は、本質では傷つかないし、ゆるがないものです。それは「女性を愛している。」男性すべてにある本質の場所です。

Way of Chanda mama は、ドラゴンへの道みたいだけど、実はプレシャスパートナーシップ・ファミリーシップへの最短の道です。続きはコースでご説明します！

【６、プレシャス VISION のスタートが最高な人生のスタートです！】

男性が安心のフィールドを作り、女性が「Mother of all mothership（すべての母性のおかあさん)」まで来ると、「愛」×「愛」で人生が進みます。

男性は、凄い、ハッピーにしかならないセックスの効果に驚くでしょう。もちろん、女性も。
（これを知らずに死んでほしくない by 真田、男性トレーナー）

プレシャス WANT「子供の本質への愛」の場所で夫婦の心がぴったりつながったら、ここからが現実を具体的に創造するスタートになります。

ここまでくる間に感覚の共鳴やインスピレーションなど、広がった感覚が拾い上げるたくさんの情報が手に入ります。これを駆使して、「どこに住む？どんな教育？どんな家にしようか？」など、「愛」×「愛」で子供の本質が最高にスパークする現実がリアルに創られていきます。

ここが、私たちトレーナーが一番サポートしたいところであり、何より同じ目的で進む仲間がいるので、たくさんの助言、アドバイスを得ながら、二人が深く共鳴する決断と選択で、どんどん人生を作り上げてくださいね。そのための育成プログラムです！

2024 年育成コースは Join your love, Let’s build Precious Life as yours!!

株式会社 リジョイン代表
真田雅一 ＆ 村本明嬉子

本資料の文章、内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください